

Advanced Printer Driver 6

導入ガイド

ご使用の前に

本製品をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

APD6 の概要

APD6の概要について説明します。

インストール

APD6のインストール、アンインストールおよびインストール後のメンテナンスについて説明します。

コピーインストール

コピーインストールについて説明します。

コマンド

コマンド操作による、アップグレード/アンインストールについて説明します。



ご使用の前に

本章では、EPSON Advanced Printer Driver 6 (以降 APD6) をご使用いただく前に知っておいていただきたい情報について説明しています。

APD6 のパッケージ

APD6 は、以下のパッケージで構成されています。



- プリンタードライバーパッケージ
TM プリンターの機種ごとに用意されるパッケージです。プリンタードライバーをインストールするとアプリケーションソフトから簡単に印刷することができます。以下のマニュアルを収録しています。
 - 導入ガイド (本書)
APD6 のインストール、TM プリンターの登録、プリンタードライバーを自動的にインストールする方法などを説明しています。
 - 設定ガイド
APD6 の使用方法と機能について説明しています。
 - プリンター仕様
TM プリンター機種ごとのプリンタードライバーの仕様を説明しています。
- Status API パッケージ
APD6 専用の TM プリンター共通のパッケージです。Status API を使用して TM プリンターを制御するアプリケーションを開発したり、プリンターのステータスをリアルタイムで監視したり、APD6 と他のエプソンドライバーと共存させたりする場合にインストールする必要があります。以下のマニュアルを収録しています。
 - Status API ガイド
Status API を使い、アプリケーションソフトから TM プリンターのステータスを取得する方法を説明しています。TM プリンター機種ごとに使用可能な API などの仕様は、プリンタードライバーパッケージに含まれる「プリンター仕様」マニュアルを参照してください。
- サンプルプログラムパッケージ
APD6 専用の TM プリンター共通のパッケージです。TM プリンターの制御・印刷するアプリケーションを開発するための、サンプルプログラムとソースコードを収録しています。マニュアルはありませんが、プログラムを説明した HTML ファイルを収録しています。

最新版のダウンロード

本製品の最新版は、下記の URL からダウンロードできます。

<https://www.epson.jp/support/sd/>

マークの意味

 重要	<p>ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や動作不良の原因になる可能性があります。</p>
 参考	<p>補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。</p>

マニュアル記載の前提

- 本書の画面は Windows 10 の表示画面を使用しています。
- 画面の設定項目は、TM プリンターの機種や設定状況によって異なります。

もくじ

ご使用の前に2

- APD6 のパッケージ 2
 - 最新版のダウンロード2
- マークの意味 3
- マニュアル記載の前提 3
- もくじ 4

APD6 の概要5

- APD6 の特長 5
- 動作環境 6
 - OS6
 - サポート TM プリンター6
- Status API パッケージのインストールが
必要なソフトウェア 7
- OS による違い 8
- 制限事項 9

インストール 10

- インストール 10
- アンインストール 15
- メンテナンス 16
 - 接続ポートを変更する 16
 - IP アドレスを TM プリンターに設定する 18
 - Bluetooth の TM プリンターをペアリング
する 23

コピーインストール27

- コピーインストールとは 27
- パッケージの作成 28
- コピーインストール 31
 - 接続ポートの IP アドレスを設定する 32
 - Bluetooth のポートを設定する 32
 - ログファイル 33

コマンド34

- アップグレード 34
- アンインストール 35
- コマンドオプション 36

付録37

- Acknowledgements 37
- ご注意 39
- 商標 39

APD6 の概要

APD6 の特長

APD6 は、エプソン の TM プリンター専用の Windows プリンタードライバーです。以下の特長があります。

- 市販のアプリケーションから、TM プリンター特有の機能を制御できます。
- IP アドレスを TM プリンターに設定できます。
- 他のコンピュータに APD6 をインストールして設定する、コピーインストールパッケージを作成できます。
- プリンター共有をサポートしています。ネットワーク上の他のコンピュータと、TM プリンターを共有できます。(プリントサーバーを使用しての共有はサポートしていません。)
- ターミナルサービス / Citrix XenApp 環境から印刷できます。
- ユーザーの環境構築用バッチファイルからコマンドを利用して、APD6 のインストールやアンインストールができます。



参考

- APD6 より StatusAPI パッケージは個別に配布しています。
- StatusAPI パッケージをインストールすることで、以下の機能を実現できます。
 - * エプソンの他のドライバー(OPOS など) を使用するアプリケーションと、TM プリンターを共有できます。アプリケーションの排他制御は、ドライバー側で自動的に行うので、アプリケーション側で制御する必要はありません。
 - * TM プリンターのステータスAPIを使用して、アプリケーションからTM プリンターの機種情報を取得したり、TM プリンターを制御したり、TM プリンターの状態を取得したりできます。
 - * .NET 環境のアプリケーションでも、TM プリンターのデバイスフォントを使用した印刷ができます。

動作環境

OS

- Microsoft Windows 11*
- Microsoft Windows 10 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows 8.1 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows 8 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows 7 SP1 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Server 2025
- Microsoft Windows Server 2022
- Microsoft Windows Server 2019
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2008 R2 SP1
- Microsoft Windows Embedded 8.1 Industry Pro (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Embedded Standard 7 (32 bit/64 bit)
- Microsoft Windows Embedded POSReady 7 (32 bit/64 bit)



参考

ユニバーサル Windows プラットフォームのアプリケーションはサポートしていません。
* ARM64 アーキテクチャーをサポートしています。

サポート TM プリンター

本プリンタードライバーパッケージに収録されている「プリンター仕様」マニュアルの対象機種

Status API パッケージのインストールが必要なソフトウェア

Status API パッケージは以下の場合にインストールしてください。

- Status API を使用して TM プリンターを制御するアプリケーションを開発する場合
- 同じコンピューター上で APD6 と以下のエプソン製ソフトウェアのいずれかと使用する場合

ソフトウェア名	対応バージョン
EPSON Advanced Printer Driver 4	Ver.4.56 以降
EPSON Advanced Printer Driver 5	Ver.5.09 以降
EPSON OPOS ADK	Ver.2.68 以降
EPSON OPOS ADK for .NET	Ver.1.11.20 以降
EpsonNet SimpleViewer	Ver.2.30 以降
TM Virtual Port Driver	Ver7.10a 以降

OS による違い

本書では OS の操作手順を Windows 10 を使って説明しています。Windows 10 以外の操作手順は以下を参照してください。

項目	説明
アンインストール	<p>Windows 11 [スタート] - [設定] - [アプリ] - ([インストールされているアプリ] または [アプリと機能])</p> <p>Windows 10 [スタート] - [設定] - ([アプリ] または [システム]) - [アプリと機能]</p> <p>Windows 8.1/ Windows 8 [デスクトップ] - サイドバー [設定] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]</p> <p>Windows 7 [スタート] - [コントロールパネル] - [プログラムのアンインストール]</p>
プリンターとスキャナー	<p>Windows 11 [スタート] - [設定] - [Bluetooth とデバイス] - [プリンターとスキャナー]</p> <p>Windows 10 [スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示]</p> <p>または [スタート] - [設定] - [デバイス] - [プリンターとスキャナー]</p> <p>Windows 8.1/ Windows 8 [デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] (またはハードウェア) - [デバイスとプリンターの表示]</p> <p>Windows 7 [スタート] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンターの表示]</p>

制限事項

- APD4.55 以前がインストールされているコンピューターに、APD6 はインストールできません。APD4.56 以降にアップデートしてから APD6 をインストールしてください。
- USB 接続の場合、APD6 のインストール後にプラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールできますが、TM プリンターがオフライン状態（カバーオープン、用紙なしなど）では追加できません。オンライン状態から復帰した時に追加されます。
- USB 接続で同時に使用できる TM プリンターの最大接続台数は 8 台です。
- ターミナルサービス / Citrix XenApp 環境では、印刷機能のみを実現しています。そのため、APD6 の Status API や Windows の PRINTER_INFO_2 は使用できません。

インストール

本章では、インストール (10 ページ) / アンインストール (15 ページ) および、インストール後のメンテナンス (16 ページ) について説明します。



重要

- 管理者 (Administrator) 権限でインストールしてください。
- 使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。



参考

APD6 は DHCP など動的 IP アドレスの TM プリンターを使用できません。固定 IP アドレスを設定してください。APD6 のインストール時に TM プリンターに IP アドレスを設定することができます。または、APD6 のインストール時には仮の IP アドレスを設定して、後から IP アドレスを変更することもできます。

インストール

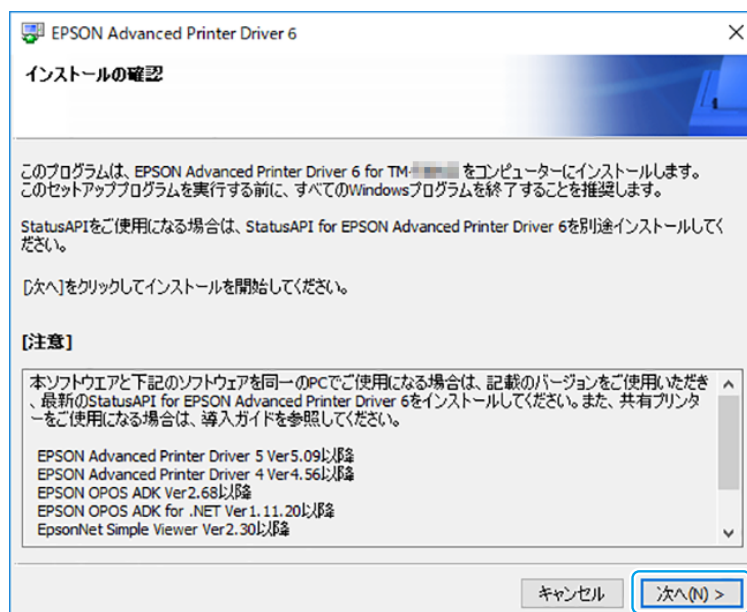
以下の手順で、インストールしてください。



参考

TM プリンターを接続しない状態で、インストールすることを推奨します。
Bluetooth® の場合、ペアリングしてからインストールすることを推奨します。(23 ページ「Bluetooth の TM プリンターをペアリングする」を参照してください)

- 1 APD6インストーラー(APD_6xx_xxx.exe)をダブルクリックしてインストールを開始します。
- 2 「インストールの確認」画面が表示されます。[注意]を確認します。
コンピューターの環境を確認し、[次へ]をクリックします。



参考

[注意] に表示されているソフトウェアを使用する場合は、本製品をインストールした後、Status API パッケージをインストールしてください。
7 ページ「Status API パッケージのインストールが必要なソフトウェア」を参照してください。

3 画面に従ってインストールします。

4 「EPSON TM Printer の設定」画面が表示されます。
[1. プリンターの選択] から、"<新しいプリンター>" を選択します。



5 [2. プリンター] で TM プリンターの名前を確認します。必要に応じて設定してください。




項目	説明
モデル	インストールするドライバーの機種名が表示されます。 設定する必要はありません。
名前	左側のチェックボックスをチェックして、プリンター名が設定されています。 必要に応じて編集できます。 これがプリンターキューの名前になります。

6 [3. 通信設定] の [ポート種類] から、TM プリンターのポートを選択します。ポートごとに必要な設定をします。

ポート種類		説明
項目		
Serial		シリアルポートを選択します。 コンピュータにシリアルポートが無い場合は、選択できません。
ポート		TM プリンターを接続する、コンピュータのシリアルポート番号を指定します。
ボーレート		通信速度を選択します。TM プリンターの設定と合わせてください。
パリティ		パリティを選択します。TM プリンターの設定と合わせてください。
ストップビット		ストップビットを選択します。TM プリンターの設定と合わせてください。
フロー制御		シリアル通知のデータフロー制御を選択します。TM プリンターの設定と合わせてください。
データビット		データビットを選択します。TM プリンターの設定と合わせてください。
USB		USB ポートを選択します。
ポート		[自動選択] が表示されます。
Ethernet		Ethernet ポートを選択します。 IP アドレスは、TM プリンターの設定と合わせてください。
ポート		自動設定を選択し、[IP アドレス] を指定します。 既にポートが存在する場合は、そのポートを選択します。この場合、[IP アドレス] の設定は不要です。
IP アドレス		TM プリンターの IP アドレスを入力します。TM プリンターに設定する IP アドレスを入力してください。
プリンターへ設定		ネットワークに TM プリンターが接続されている場合、[IP アドレス] に入力した値を TM プリンターへ設定します。プリンターの機種によっては、機種ユーティリティ (TM-xxx Utility) を起動して設定します。 詳細は、18 ページ「IP アドレスを TM プリンターに設定する」を参照してください。

ポート種類		説明
項目		
Bluetooth		TM プリンターとペアリングされている仮想 COM ポートを選択します。 [ポート] がグレーアウトしていたり、[ポート] に TM プリンターの仮想 COM ポートが表示されていなかったりする場合は、Windows でペアリングしてください。その後、[更新] をクリックすると、[ポート] に TM プリンターの仮想 COM ポートが表示されます。 ペアリングの方法は、 23 ページ「Bluetooth の TM プリンターをペアリングする」 を参照してください。
	ポート	TM プリンターとペアリングされている仮想 COM ポートが表示されるので、接続するポートを選択してください。TM プリンターのポートがない場合は、グレーアウトします。
	更新	[ポート] を更新します。
ポート共有		1 台の TM プリンターに複数の印刷キューを作成する場合に選択します。 レシート印刷と定型サイズのチケット印刷キューを分けて管理する場合などに設定できます。
	接続先	印刷キューを選択します。

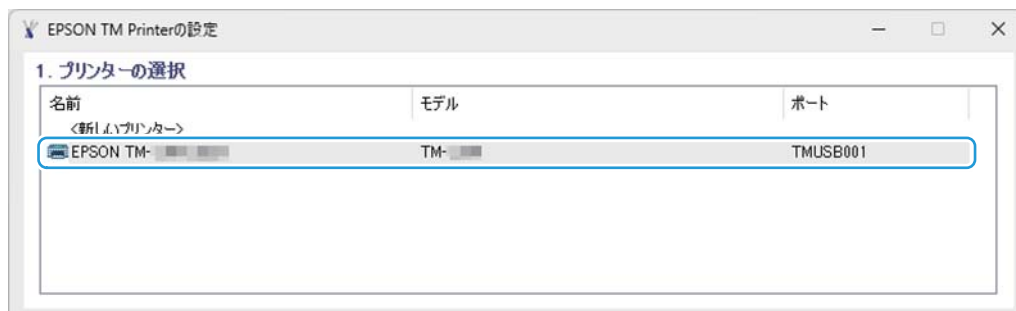
 参考	TM プリンターの機種によって、" ポート種類 " に表示される項目は異なります。 TM プリンターの通信設定の確認方法と設定方法は、各 TM プリンターの詳細取扱説明書を参照してください。
---	--

7 [4. 適用] から以下を設定し、[設定を保存] をクリックします。



項目	説明
通常使うプリンターに設定	アプリケーションの[通常使うプリンター]に設定するときにチェックします。

8 [1. プリンターの選択] に、設定した TM プリンターが表示されます。



参考

ポートには、APD6 が生成したポートが表示されます。手順6で選択したポートとは異なる場合があります。

Status API パッケージがインストールされている場合：ESDPRTxxx

USB インターフェイスで Status API パッケージがインストールされていない場合：TMUSBxxx

Bluetooth インターフェイスで Status API パッケージがインストールされていない場合：TMBTHxxx

9 [5. 完了] の [閉じる] をクリックします。



参考

TM プリンターが接続されていると、「テスト印刷」により、動作確認できます。

APD6 をインストールすると、Windows に印刷キューが生成されます。印刷キューを確認するには [スタート] - [設定] - [デバイス] - [プリンターとスキャナー] をクリックし、「プリンターとスキャナー」画面で確認できます。



他の OS での見方は、[8 ページ「OS による違い」](#)を参照してください。

10 TM プリンターを接続して電源を入れます。

Ethernet インターフェイスの TM プリンターに IP アドレスを設定する場合は、[18 ページ「IP アドレスを TM プリンターに設定する」](#)を参照してください。

アンインストール

APD6 をアンインストールします。

 重要	[スタート] - [設定] - [デバイス] - [プリンターとスキャナー] からプリンターキューを削除しないでください。画面からアイコン (プリンタードライバー) が消えても、APD6 はアンインストールされません。OS による違いは 8 ページ「OS による違い」 を参照してください。
 参考	コマンドプロンプトから APD6 をアンインストールすることができます。詳細は、 35 ページ「アンインストール」 をご覧ください。

APD6 のアンインストールは以下の手順で行います。

- 1 使用中のアプリケーションをすべて終了させます。
- 2 [スタート] - [設定] - [アプリ] - [インストールされているアプリ] - [EPSON Advanced Printer Driver 6 for TM-xxx] を選択し、[アンインストール] をクリックします。
OS による違いは [8 ページ「OS による違い」](#) を参照してください。
- 3 画面の指示に従ってアンインストールします。

メンテナンス

- 接続ポートを変更する (16 ページ)
- IP アドレスを TM プリンター本体に設定する (18 ページ)
- Bluetooth の TM プリンターをペアリングする (Windows 10)(23 ページ)

接続ポートを変更する

接続する TM プリンターのインターフェイスに合わせて、APD6 のポートを変更することができます。Bluetooth インターフェイスの場合、コンピューターとペアリングすると仮想 COM ポートが生成されます。APD6 のポートをこのポートに変更すると印刷ができるようになります。以下の手順で変更します。

- 1 TM プリンターとコンピューターを接続し、TM プリンターの電源を入れます。
- 2 [スタート] - [EPSON] - [EPSON TM Printer の設定] を選択します。
- 3 「EPSON TM Printer の設定」画面が表示されます。
[1. プリンターの選択] から、ポートを変更する TM プリンターを選択します。



- 4 [3. 通信設定] で、ポートの設定をします。設定項目は [12 ページ](#)を参照してください。

- 5 [4. 適用] の [設定を保存] をクリックします。

- 6 ポートの設定が反映されると、[1. プリンターの選択] のTMプリンターの情報が更新されます。

- 7 [5. 完了] の [閉じる] をクリックします。

以上で APD6 のポートが変更されました。

IP アドレスを TM プリンターに設定する

APD6 に設定した IP アドレスを、TM プリンターに設定できます。TM プリンターを交換した場合など、新しい TM プリンターを既存の印刷キューに登録するときに活用できます。

以下の手順で設定します。

- 1 TM プリンターをネットワークに接続して TM プリンターの電源を入れます。
- 2 [スタート] - [EPSON] - [EPSON TM Printer の設定] を選択します。
- 3 「EPSON TM Printer の設定」画面が表示されます。
[1. プリンターの選択] から、IP アドレスを設定する TM プリンターを選択します。
- 4 [3.通信設定]の[ポート種類]が"Ethernet"になっていることを確認し、[IPアドレス]の設定値を確認します。別の IP アドレスを入力することもできます。

The screenshot shows the 'EPSON TM Printer の設定' (EPSON TM Printer Settings) window. On the left, under '名前' (Name), there is a list of printer models with 'EPSON TM-' selected. Below this is a '注意' (Note) section. The main area is divided into two columns. The left column has 'ポート種類' (Port Type) set to 'Ethernet', 'ポート' (Port) set to '192.168.', and 'IPアドレス' (IP Address) set to '192.168.'. The right column has a checkbox for '通常使うプリンターに設定' (Set as default printer) and buttons for '設定を保存 (S)' (Save settings), 'テスト印刷 (P)' (Test print), and '5. 完了' (5. Complete). A 'プリンターへ設定' (Apply to printer) button is also present.

モデル: TM-
名前: EPSON TM-
注意:
プリンターにカスタマーディスプレイを接続する場合、EPSON Advanced Printer Driver 6 for DM-D導入ガイドを参照してください。

ポート種類: Ethernet
ポート: 192.168.
IPアドレス: 192.168.
プリンターへ設定

☐ 通常使うプリンターに設定
設定を保存 (S)
テスト印刷 (P)
5. 完了
閉じる

5 [プリンターへ設定] をクリックします。

2. プリンター

モデル TM-1150

名前

☒ EPSON TM-1150

☐

☐

☐

注意:
プリンターにカスタマーディスプレイを接続する場合、EPSON Advanced Printer Driver 6 for DM-D導入ガイドを参照してください。

3. 通信設定

ポート種類 Ethernet

ポート 192.168.1.1

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 1

プリンターへ設定

4. 適用

☐ 通常使うプリンターに設定

設定を保存 (S)

テスト印刷 (P)

5. 完了

閉じる

以下が表示される機種は、プリンターの機種ユーティリティ (TM-xxx Utility) で設定します。
[プリンターへ設定] がグレーアウトしている場合は、機種ユーティリティをインストールしてください。



参考

2. プリンター

モデル TM-1150

名前

☒ EPSON TM-1150

☐

☐

☐

注意:
プリンターにカスタマーディスプレイを接続する場合、EPSON Advanced Printer Driver 6 for DM-D導入ガイドを参照してください。

3. 通信設定

ポート種類 Ethernet

ポート 192.168.1.1

IPアドレス 192 . 168 . 1 . 1

プリンターへ設定

ネットワーク設定は、EPSON TM-1150 Utilityをインストールし実施してください。
設定手順は、EPSON TM-1150 Utility ユーザーズマニュアルを参照してください。

4. 適用

☐ 通常使うプリンターに設定

設定を保存 (S)

テスト印刷 (P)

5. 完了

閉じる

- 6 プリンターの機種により、「プリンターネットワーク設定」またはプリンターの機種ユーティリティ (TM-xxx Utility) が表示されます。
 「プリンターネットワーク設定」画面が表示された場合は、[次へ] をクリックします。
 この場合、手順 7 へ進んでください。

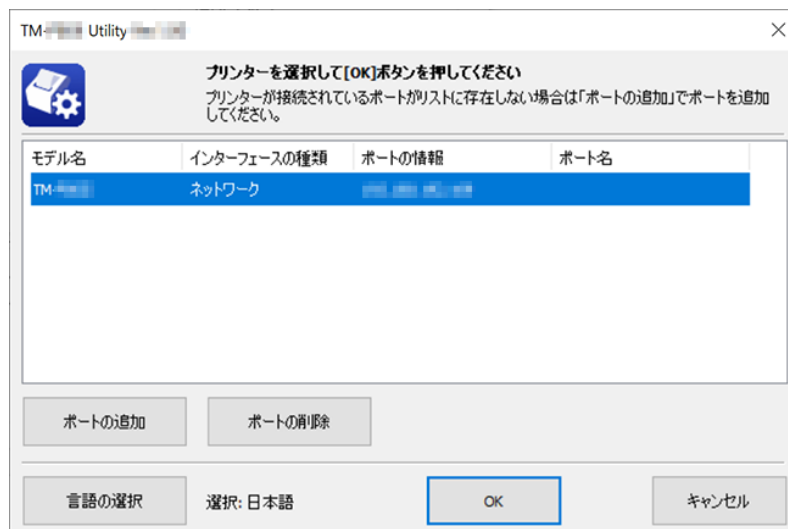
プリンターネットワーク設定



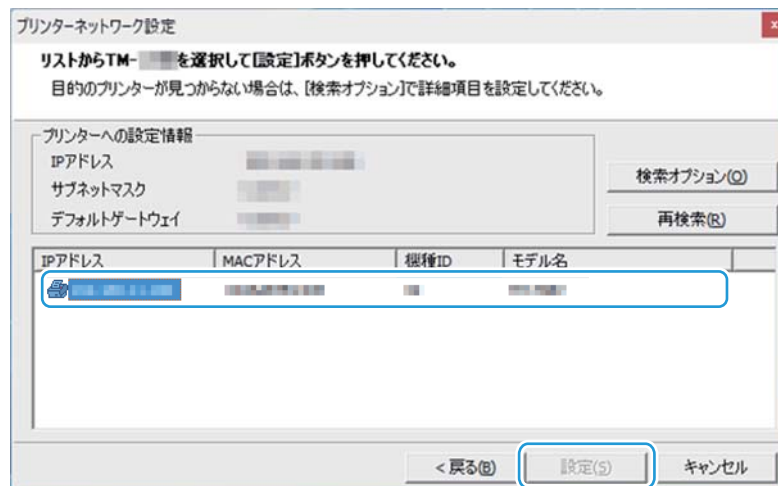
プリンターの機種ユーティリティが表示された場合は、プリンターを選択して [OK] をクリックします。

機種ユーティリティのユーザーズマニュアルを参照して、手順 4 で入力した IP アドレスを TM プリンターに設定します。機種ユーティリティを終了して、手順 13 へ進んでください。

機種ユーティリティ



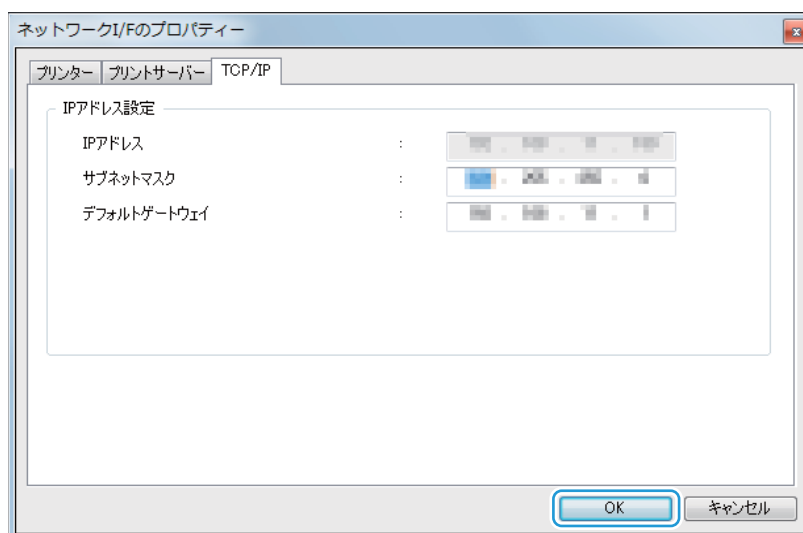
- 7 「プリンターネットワーク設定」画面が表示されます。リストに TM プリンターが表示されます。IP アドレスを設定する TM プリンターを選択し、[設定] をクリックします。



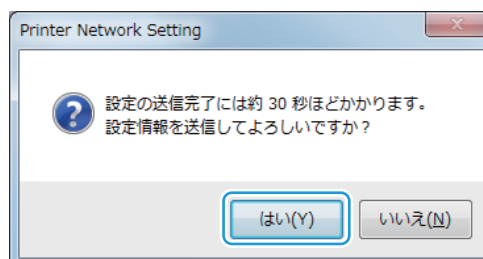
参考

- [検索オプション] をクリックし、検索オプション設定機能を使うと、特定のネットワークから TM プリンターを検索できます。
- リストに対象の TM プリンターが表示されない場合、[再検索] をクリックしてください。[再検索] をクリックしても表示されない場合、対象の TM プリンターがネットワークに接続されているか確認してください。
- 同じ機種の TM プリンターがリストに表示された場合は、表示された MAC アドレスで TM プリンターを特定してください。

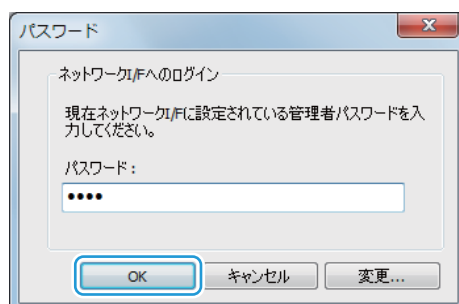
- 8 「ネットワーク I/F のプロパティー」画面が表示されます。TM プリンターに設定するネットワーク設定を確認し、[OK] をクリックします。



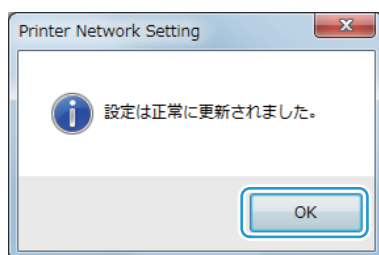
- 9 確認画面が表示されます。[はい] をクリックします。



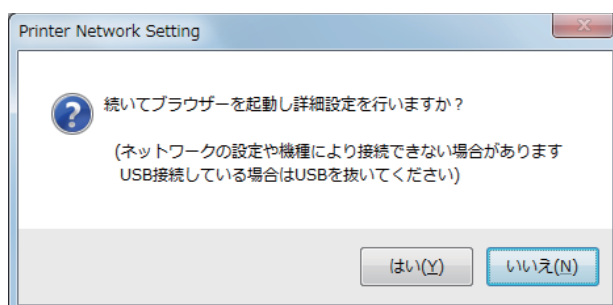
- 10** ネットワークI/Fのパスワード入力画面が表示されます。これはプリンターのNetConfigのパスワードです。必要に応じてパスワードを入力し、[OK] をクリックします。IP アドレスを TM プリンターに設定します。



- 11** 以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。



- 12** 以下の画面が表示されます。TM プリンターの詳細なネットワーク設定を行う場合、[はい] をクリックします。TMNet WebConfig が起動します。



- 13** 「EPSON TM Printer の登録 , 変更 , 削除」画面が表示されます。[4. 適用] の [設定を保存] をクリックします。

以上で、APD6 に設定した IP アドレスが、TM プリンターに設定されました。

Bluetooth の TM プリンターをペアリングする

Windows で Bluetooth インターフェイスの TM プリンターをペアリングすると、仮想 COM ポートが生成されます。APD6 はこのポートを使って印刷します。ここでは、Windows でコンピューターと Bluetooth インターフェイスの TM プリンターをペアリングする方法を説明します。

このポートは、別途提供している Epson TM Bluetooth Connector から作成することもできます。

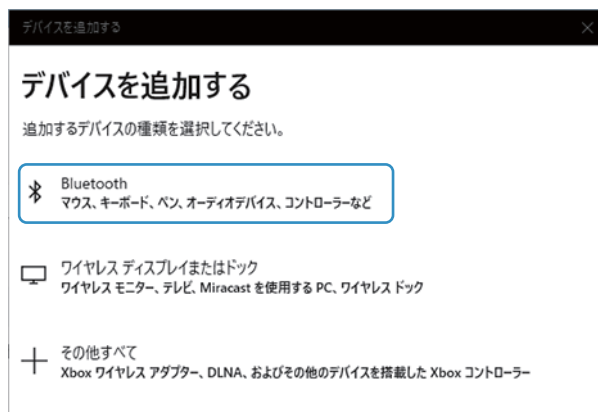
TM プリンターをペアリングする

以下の手順でペアリングします。

- 1 ペアリングする TM プリンターの電源を入れ、コンピューターの Bluetooth をオンにします。
- 2 [スタート] - [設定] - [Bluetooth とデバイス] を選択します。
- 3 “Bluetooth とデバイス” 画面が表示されます。[デバイスの追加] をクリックします。



- 4 “デバイスを追加する” 画面が表示されます。[Bluetooth] をクリックします。



5 接続可能なプリンターが表示されます。接続するプリンターを選択します。



6 "Bluetooth とデバイス" 画面にプリンターが追加されます。



以上で、コンピュータと TM プリンターのペアリングが完了しました。



参考



ペアリング完了後、" ドライバーは使用できません " と表示されることがありますが、ペアリングは完了しています。

COM ポートの確認

ペアリングして生成されたポートは、以下の手順で確認できます。

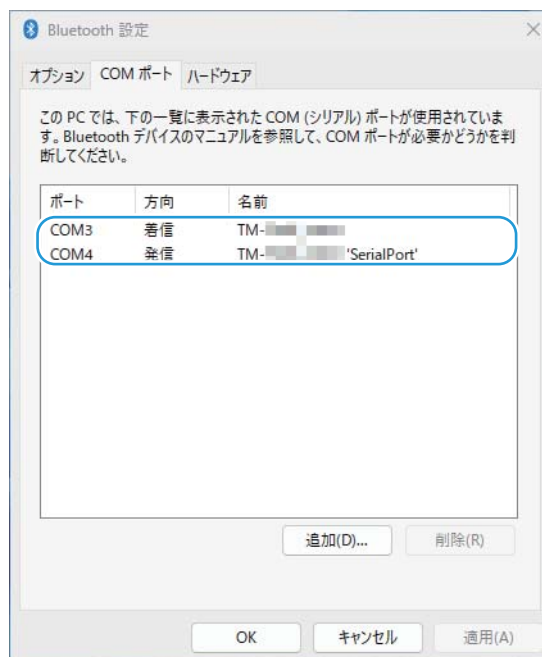
- 1 [スタート] - [設定] - [Bluetooth とデバイス] を選択します。
- 2 “Bluetooth とデバイス” 画面が表示されます。[その他の Bluetooth 設定] を選択します。



- 3 “Bluetooth 設定” 画面が表示されます。[COM ポート] タブを選択します。



4 COM ポートのリストが表示されます。TMプリンターのCOMポートが表示されることを確認します。



参考

発信と着信の 2 つのポートが表示されますが、印刷には発信のポートを使います。APD6 でポートを追加 / 変更する場合、着信のポートは表示されないなので、表示されたポートを設定してください。

コピーインストール

本章では、コピーインストールの方法について説明しています。

コピーインストールとは

コピーインストールとは、設定済み APD6 のインストールパッケージを作成して、他のコンピュータで実行することで APD6 のインストールと設定を自動的に行うことです。

ユーザーのバッチファイルからコマンドを実行して、APD6 の自動インストールができます。

OS がスマートアプリコントロール環境の場合、パッケージの作成でコピー情報ファイル (inf) を出力し、本ドライバーのパッケージファイル (Status API をインストールする場合は Status API のパッケージファイルを含む) と組み合わせて使用します。

Ethernet インターフェイスの場合、コピーインストールする時にコマンドを追加することで、パッケージとは別の IP アドレスを設定できます。

Bluetooth インターフェイスの場合、コピーインストールした後に、ポートを設定してください ([32 ページ「Bluetooth のポートを設定する」](#)を参照してください)。



参考

OS の bit が異なるとコピーインストールできません。

例：64bit OS のコンピュータ にコピーインストールする場合は、64bit OS のコンピュータでコピーインストールパッケージを作成してください。

パッケージの作成

コピーインストール用のパッケージファイルは、以下の手順で作成します。



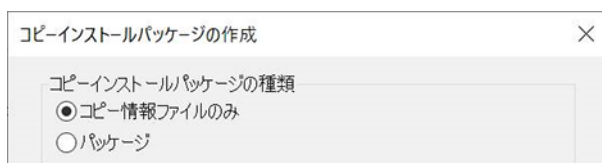
重要

コピーインストールされたコンピュータでは、コピーインストール用のパッケージファイルを作成できません。

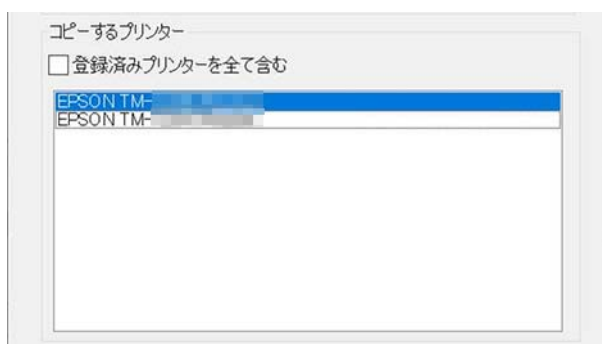
- 1 APD6 を設定します。
APD6 の設定については「設定ガイド」を参照してください。
- 2 [スタート] - [EPSON] - [EPSON TM Printer の設定] を選択します。
- 3 「EPSON TM Printer の設定」画面が表示されます。
[コピーインストール] - [作成] を選択します。

- 4 「コピーインストールパッケージの作成」画面が表示されます。コピーインストールパッケージの種類を選択します。

OS	選択
スマートアプリコントロール環境	コピー情報ファイルのみ
スマートアプリコントロール環境以外	パッケージ



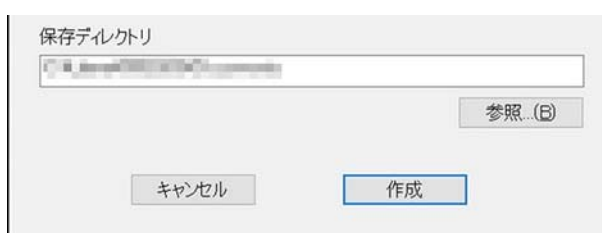
- 5 コピーするプリンターを選択します。[コピーするプリンター]の一覧からコピーする TM プリンターを選択します。登録済プリンターをすべて含める場合は、[登録済みプリンターを全て含む]をチェックします。



参考

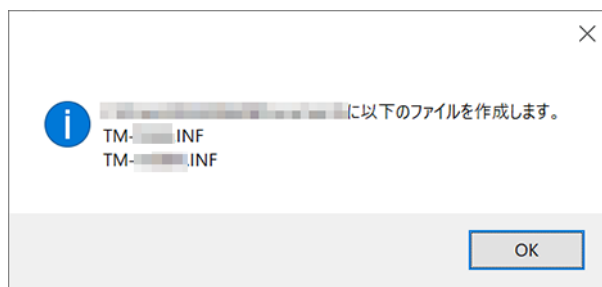
初期状態では、[登録済みプリンターを全て含む]にチェックが付いています。登録済みの TM プリンターをすべて含めてコピーする場合、チェックを付けてください。特定の TM プリンターのみコピーする場合、チェックを外し、TM プリンターを選択してください。

- 6 [参照]をクリックし、保存ディレクトリーを指定します。

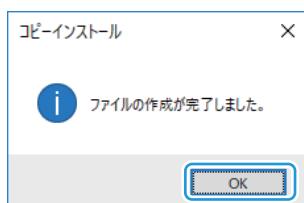


- 7 [作成]をクリックします。

- 8 確認画面が表示されます。作成されるファイル名を確認して [OK] をクリックします。
パッケージファイルまたはコピー情報ファイルが作成されます。




- 9 作成が完了すると以下の画面が表示されます。[OK] をクリックします。
手順 6 で指定したディレクトリーにファイルが生成されます。



コピーインストール

コピー先のコンピュータでコピーインストールすることで、APD6 のインストールと設定を自動的に行うことができます。Bluetooth インターフェイスの場合は、ポートの設定が必要です（[32 ページ「Bluetooth のポートを設定する」](#)を参照してください）。

コピーインストールは、以下の手順で実行します。

 重要	<ul style="list-style-type: none"> • 管理者 (Administrator) 権限で実行してください。 • OS の bit が異なるとコピーインストールできません。 例：64bit OS のコンピュータ にコピーインストールする場合は、64bit OS のコンピュータでコピーインストールパッケージを作成してください。 • コピー情報ファイルを作成した場合、本ドライバーのパッケージファイル (Status API をインストールする場合は Status API のパッケージファイルを含む) をコピーしてください。
---	--

1 コピー先コンピュータに必要なファイルをコピーします。


コピー先の OS	必要なファイル
スマートアプリコントロール環境 *	<ul style="list-style-type: none"> • 本ドライバーのパッケージファイル • Status API のパッケージファイル (Status API を同時にインストールする場合) • コピー情報ファイル
スマートアプリコントロール環境以外	<ul style="list-style-type: none"> • コピーインストール用のパッケージファイル

* 本ドライバーが Status API と合体したパッケージの場合、Status API のファイルは不要です。

2 Windows のコマンドプロンプトを起動します。

3 以下のコマンドを入力して、コピーインストールを実行します。

- スマートアプリコントロール環境 - 本ドライバと Status API が別パッケージの場合：
`>start /wait StatusAPI.exe /s && Driver.exe /s /f1"[コピー情報ファイルのフルパス]"`
- スマートアプリコントロール環境以外の場合：
`>[パッケージファイル名 (フルパスで記述)]`
 例：C:¥Apd6CopyInstaller.exe

 参考	パッケージファイル (exe ファイル) を実行する時は、同じフォルダーにパッケージファイル (exe ファイル) 以外のファイルが含まれていないことを確認してください。
---	---

4 APD6 のコピーインストールが開始されます。

APD6 のインストールと設定は自動的に行われます。

コピーインストールの結果は、ログファイルに保存されます。詳細は [33 ページ「ログファイル」](#) を参照してください。

接続ポートの IP アドレスを設定する

コピーインストールするときにコマンドを指定することで、APD6 の接続ポートの IP アドレスを設定できます。

IP アドレスを設定したコピーインストールは、以下の手順で実行します。

- 1 コピー先コンピューターにパッケージファイルをコピーします。
- 2 Windows のコマンドプロンプトを起動します。
- 3 以下のコマンドを入力して、コピーインストールを実行します。
>[パッケージファイル名 (フルパスで記述)]
例: C:¥Apd6CopyInstaller.exe /P"192.168.100.10"
- 4 APD6 のコピーインストールが開始されます。
APD6 のインストールとポートの設定は自動的に行われます。
この段階では TM プリンターに IP アドレスは設定されていません。TM プリンターに IP アドレスを登録する場合は、TM プリンターを接続してから IP アドレスを設定します。設定方法は [18 ページ「IP アドレスを TM プリンターに設定する」](#) を参照してください。

Bluetooth のポートを設定する

Bluetooth インターフェイスの場合、コンピューターとペアリングした仮想 COM ポートを APD6 に設定する必要があります。

APD6 をコピーインストール後、以下の手順で設定します。

- 1 TM プリンターとコンピューターをペアリングします。
[23 ページ「Bluetooth の TM プリンターをペアリングする」](#) を参照してください。
- 2 [スタート] - [EPSON] - [EPSON TM Printer の設定] を選択します。
- 3 「EPSON TM Printer の設定」画面が表示されます。[1. プリンターの選択] から、接続する TM プリンターを選択します。
- 4 [ポートの種類] が [FILE] になってるので、[Bluetooth] に変更します。
- 5 [ポート] にペアリングされた仮想 COM ポートが表示されるので、プリンターのポートを選択します。
- 6 設定を保存して、[EPSON TM Printer] の設定を終了します。

以上で、Bluetooth のポートを設定しました。

ログファイル

コピーインストールの結果は、以下のファイルから確認できます。

ファイル名	出力先フォルダー
CopyInstallLog.txt	C:\¥Users¥%USERNAME%\¥Application Data¥EPSON¥EPSON Advanced Printer Driver 6¥CopyInstallLog

CopyInstallLog.txt の情報

CopyInstallLog.txt には、以下の情報が記録されています。

- コマンドを実行した年月日時
- パッケージファイル名
- 実行結果

"Install Result" の内容は以下のとおりです。

Install Result	内容
0	インストールが正常に終了しました。
1223	ユーザーがインストールをキャンセルしました。
1	<ul style="list-style-type: none"> • 正しくセットアップするためには、管理者権限が必要です。 • 現在のボリュームには、選択している機能をインストールするために十分なディスク空き領域がありません。現在のボリュームからファイルを削除してディスク領域を確保するか、ローカル ディスクにインストールする機能を削減してください。あるいは、別のドライブを選択してください。
3	指定されたコマンドオプションは使用できません。
4	すでに APD6 がインストールされているため、インストールできませんでした。 本パッケージからインストールする場合は、既存の APD6 をアンインストールしてください。
5	インストールするバージョンよりも新しいバージョンがインストールされています。
6	指定したファイルと APD6 インストーラーのパッケージが異なります。
7	<ul style="list-style-type: none"> • このファイルは 32 ビット OS のみ使用できます。 • このファイルは 64 ビット OS のみ使用できます。 • このファイルは ARM64 対応 OS のみ使用できます。
-3	すでに APD6 がインストールされているため、インストールできません。
1151	APD6 が サポートされていない OS でコピーインストールされました。
-1	<ul style="list-style-type: none"> • コンピューター内のファイルが上書きできません。ファイルが使用中の可能性があります。すべてのアプリケーションを終了して、インストールを最初から行ってください。 • インストールに失敗しました。すべてのアプリケーションを終了して、インストールを最初から行ってください。

コマンド

本章では、APD6 をアップグレード / アンインストールするコマンドについて説明します。
Windows のコマンドプロンプト、またはユーザーのバッチファイルなどからコマンドを実行できます。

アップグレード

ここでは、Windows のコマンドプロンプトから APD6 をアップグレードする方法を説明します。
APD6 のアップグレードは、以下の手順で実行します。



参考

- コピーインストールのパッケージファイルから、アップグレードすることはできません。
- APD6 をアップグレードしても、今までの設定は自動的に引き継がれます。

- 1 コンピューターに新しい APD6 のパッケージファイルをコピーします。
- 2 Windows のコマンドプロンプトを起動します。
- 3 以下のコマンドを入力して、アップグレードを実行します。
>[APD6 のパッケージ (フルパスで記述)] /s /a
例: C:¥APD6¥APD_6xx_xxx.exe /s /a
- 4 APD6 のアップグレードが開始されます。

APD6 のアップグレード後にコンピューターを再起動するなどの機能については、[36 ページ「コマンドオプション」](#)を参照してください。
実行結果をログファイルで確認できます。詳細は [33 ページ「ログファイル」](#)を参照してください。

アンインストール

ここでは、Windows のコマンドプロンプトから APD6 をアンインストールする方法を説明します。
APD6 をアンインストールするには、APD6 のパッケージファイルが必要です。
APD6 のアンインストールは、以下の手順で実行します。

- 1** コンピューターに APD6 のパッケージファイルをコピーします。
インストールされている APD6 のパッケージファイルを用意してください。
- 2** Windows のコマンドプロンプトを起動します。
- 3** 以下のコマンドを入力して、アンインストールを実行します。
>[APD6 インストーラー (フルパスで記述)] /s /uninstall
例: C:¥APD6¥APD_6xx_xxx.exe /s /uninstall
- 4** APD6 のアンインストールが開始されます。

APD6 のアンインストール後にコンピューターを再起動するなどの機能については、[36 ページ「コマンドオプション」](#)を参照してください。

実行結果をログファイルで確認できます。詳細は [33 ページ「ログファイル」](#)を参照してください。

コマンドオプション

コマンドオプションは、以下のとおりです。

オプション	説明
(指定なし)	コピーインストールを実行します。
/s /a	APD6 をアップグレードします。
/s /uninstall	APD6 をアンインストールします。
/d	コピーインストール / アップグレード / アンインストール結果をメッセージダイアログで表示します。
/r(Y/N)	コピーインストール / アップグレード / アンインストール完了後の OS の再起動を設定します。 <ul style="list-style-type: none">• 再起動する場合： /rY• 再起動しない場合： /rN (何も指定しない場合、再起動要求があれば強制的に再起動します。)
/P	コピーインストールした APD6 の IP アドレスをコマンドで指定します。コピーインストールパッケージに複数の印刷キューが設定されていても、指定できる IP アドレスは 1 つです。(すべての印刷キューが同じ IP アドレスになります。)

付録

Acknowledgements

Info-ZIP

"Advanced Printer Driver" incorporate compression code from the Info-ZIP group.

This is version 2009-Jan-02 of the Info-ZIP license. The definitive version of this document should be available at <ftp://ftp.info-zip.org/pub/infozip/license.html> indefinitely and a copy at <http://www.info-zip.org/pub/infozip/license.html>.

Copyright (c) 1990-2009 Info-ZIP. All rights reserved.

For the purposes of this copyright and license, "Info-ZIP" is defined as the following set of individuals:

Mark Adler, John Bush, Karl Davis, Harald Denker, Jean-Michel Dubois, Jean-loup Gailly, Hunter Goatley, Ed Gordon, Ian Gorman, Chris Herborth, Dirk Haase, Greg Hartwig, Robert Heath, Jonathan Hudson, Paul Kienitz, David Kirschbaum, Johnny Lee, Onno van der Linden, Igor Mandrichenko, Steve P. Miller, Sergio Monesi, Keith Owens, George Petrov, Greg Roelofs, Kai Uwe Rommel, Steve Salisbury, Dave Smith, Steven M. Schweda, Christian Spieler, Cosmin Truta, Antoine Verheijen, Paul von Behren, Rich Wales, Mike White.

This software is provided "as is," without warranty of any kind, express or implied. In no event shall Info-ZIP or its contributors be held liable for any direct, indirect, incidental, special or consequential damages arising out of the use of or inability to use this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the above disclaimer and the following restrictions:

1. Redistributions of source code (in whole or in part) must retain the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions.
2. Redistributions in binary form (compiled executables and libraries) must reproduce the above copyright notice, definition, disclaimer, and this list of conditions in documentation and/or other materials provided with the distribution. Additional documentation is not needed for executables where a command line license option provides these and a note regarding this option is in the executable's startup banner. The sole exception to this condition is redistribution of a standard UnZipSFX binary (including SFXWiz) as part of a self-extracting archive; that is permitted without inclusion of this license, as long as the normal SFX banner has not been removed from the binary or disabled.
3. Altered versions—including, but not limited to, ports to new operating systems, existing ports with new graphical interfaces, versions with modified or added functionality, and dynamic, shared, or static library versions not from Info-ZIP—must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source or, if binaries, compiled from the original source. Such altered versions also must not be misrepresented as being Info-ZIP releases—including, but not limited to, labeling of the altered versions with the names "Info-ZIP" (or any variation thereof, including, but not limited to, different capitalizations), "Pocket UnZip," "WiZ" or "MacZip" without the explicit permission of Info-ZIP. Such altered versions are further prohibited from misrepresentative use of the Zip-Bugs or Info-ZIP e-mail addresses or the Info-ZIP URL(s), such as to imply Info-ZIP will provide support for the altered versions.
4. Info-ZIP retains the right to use the names "Info-ZIP," "Zip," "UnZip," "UnZipSFX," "WiZ," "Pocket UnZip," "Pocket Zip," and "MacZip" for its own source and binary releases.

Windows Template Library

Microsoft 社の Windows Template Library を使用しています。

IJG JPEG Library

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については、予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については、上項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft[®]、Windows[®] はマイクロソフト グループの企業の商標です。
Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、セイコーエプソン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
その他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

© Seiko Epson Corporation 2019–2025